

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報  
(6月2日～6月8日の情報)

**1. 行政による放射性物質検査**

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています。6月2日か6月8日までに6504件の検査がおこなわれました。基準を超えたものは5件でした。野生の山菜での検出が見受けられますが、いずれも出荷制限措置がとられています。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

**2. 検査結果について**

**(1)検査結果の概要**

1. 検査結果の抜粋(6月2日～6月8日に検査された検査結果)です。

※検査を全国の都道府県で実施されていますが、ここで公表するのは福島県に隣接する県、もしくは、その週に基準を超えたものが発表された都道府県とします。

	都道府県名	検査数	基準超 合計	今週基準を 超えたもの		都道府県名	検査数	基準超 合憲	今週基準を 超えたもの
福島 県	農産物	164	2	タケノコ	栃 木 県	農産物	35	0	—
	畜産物	293	0	—		畜産物	459	0	—
	水産物	154	0	—		水産物	11	0	—
	牛乳乳児用食品	8	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	40	1	イノシシ
	飲料水、その他	63	0	—		飲料水、その他	1	0	—
宮 城 県	農産物	104	1	ワラビ	群 馬 県	農産物	16	0	—
	畜産物	163	0	—		畜産物	502	0	—
	水産物	68	0	—		水産物	1	0	—
	牛乳乳児用食品	0	0	—		牛乳乳児用食品	1	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	0	0	—		飲料水、その他	1	0	—
茨 城 県	農産物	13	1	コシアブラ	千 葉 県	農産物	14	0	—
	畜産物	448	0	—		畜産物	128	0	—
	水産物	20	0	—		水産物	10	0	—
	牛乳乳児用食品	0	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	0	0	—		飲料水、その他	0	0	—

表2. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2017年11月26日	98.9%	1.1%	0.0%
2017年12月 3日	97.6%	2.4%	0.0%
2017年12月10日	99.0%	1.0%	0.0%
2017年12月17日	99.6%	0.4%	0.0%
2017年12月24日	99.1%	0.9%	0.0%
2018年 1月21日	99.5%	0.5%	0.0%
2018年 1月28日	99.4%	0.6%	0.0%
2018年 2月 4日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 2月12日	97.9%	2.1%	0.0%
2018年 2月18日	100%	0.0%	0.0%
2018年 2月25日	98.9%	1.1%	0.0%

2018年 3月 4日	99.3%	0.7%	0.0%
2018年 3月11日	98.1%	1.9%	0.0%
2018年 3月18日	98.6%	1.4%	0.0%
2018年 3月25日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 4月 1日	99.6%	0.4%	0.0%
2018年 4月 8日	98.5%	1.5%	0.0%
2018年 4月15日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 4月22日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 5月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月13日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月20日	98.0%	2.0%	0.0%
2018年 5月27日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 6月 1日	100%	0.0%	0.0%
2018年 6月 8日	98.4%	1.6%	0.0%
<b>2017年5月平均</b>	<b>97.3%</b>	<b>2.7%</b>	<b>0.0%</b>

基準を超えた沿岸魚はみつきりませんでした。これで155週連続(約3年)となります。福島県の122検体の水産物(海洋)が検査されました。今週の結果で、放射性セシウムが検出された魚介は2検体でした。

①南相馬市<シロメバル:7 ベクレル/キログラム>②相馬市<ヒラメ:9.9 ベクレル/キログラム>

## (2)検査について基準を超えたものについて

①福島県で採取されたタケノコについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 福島県福島市:タケノコ(200 ベクレル/キログラム)

イ. 福島県伊達市:タケノコ(130 ベクレル/キログラム)

福島県福島市、伊達市で採取されたタケノコについては、すでに出荷制限措置がとられており市中には出回っていません。

②宮城県で採取した野生のワラビについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 宮城県加美町:ワラビ(120 ベクレル/キログラム)

宮城県加美町で採取されたワラビについては、すでに出荷自粛措置が取られているため、市中には出回っていません。

③栃木県で捕獲された野生鳥獣について基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 栃木県那珂川町:イノシシ(110 ベクレル/キログラム)

栃木県で捕獲されたイノシシについては、すでに出荷制限措置がとられているため、市中には出回っていません。

④茨城県で採取され、福島県で販売されていたコシアブラについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 茨城県:コシアブラ(130 ベクレル/キログラム)

現時点の情報はここまでです。調査しているかどうかは不明です。

## (3)京都の空間線量(6月2日~6月8日)

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)、0.038~0.050 マイクロシーベルト/1時間、1メートルの高さの推計値は0.045~0.059 マイクロシーベルト/1時間となっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)は0.11 マイクロシーベルト/1時間(1メートル地点は0.14 マイクロシーベルト/1時間)となっています。

2012年の同時期が0.8 マイクロシーベルト/1時間となっており、今はこの時の10分の1くらいになってきました。しかし0.1  $\mu$ Svを下回るところまで来たのは今回が初めてです。過去の平均は0.038~0.046 マイクロシーベルト/1時間(2.5メートル地点)となっておりまだ高い空間線量となっています。ただ、岐阜県や愛媛県といった日本でも放射線量の高い地域と比較した場合、倍くらいの値となっています。

## 3. 関連情報

特にありませんでした。

以上